



事業拡大へ技術 とサービス磨く

オリコンサル
HDが定例会

オリエンタルコンサルタンツホールディングスは3日、第36回定例会を開いた。写真には約600人のグループ役員が参加し、各社の重点化プロジェクトの成果と今後の展開を発表した。

定例会は、2030年ビジ

ョン・中期経営計画の基本方針である「事業創造・拡大」「人材確保・育成」をグループ全社が一丸となって推進するための場となる。

今回は、インフラ整備・保全、水管理・保全など6分野からプロジェクト10件の発表があった。出席した役員によるインターネット投票の結果、最優秀賞には「公開用成果品の自動マスキング作成プログラム検討PJ」を発表した渡邊正氏（オリエンタルコンサルタンツ）が選ばれた。

最後に野崎秀則社長は「発表を通して2030年ビジョン・中期経営計画の『革新』『変革』『挑戦』の三つの基本戦略が着実に進んでいることが実感できた。今後、各社の技術・サービスをさらに磨き、実績を積み重ね、ブランド化して事業拡大につながるように展開してほしい」と述べた。